

# 大型構造物の経年劣化検査と改修工事

平成24年12月に起きた山梨県笹子トンネル天井板崩落事故を機に、全国の公共道路・トンネル・橋梁にとどまらず、高度経済成長期から約半世紀を経ている一般の建物・構造物全体に及ぶ経年劣化への対応が、大震災等の自然災害に対する取り組み強化と共に喫緊の課題となっています。

そこで今回は、構造物経年劣化検査とそれに対応する改修工事に焦点を当て、各方面の専門家の先生方にご講演をいただき、技術的なお話に加え建物保有者としての対応についても触れていただきます。

また、講演後には講演テーマに関する研究施設を見学するラボツアーと、参加者全員による交流・名刺交換の場も用意しております。つきましては、日頃より構造物評価や改修工事に高い関心をお持ちの皆様に、直接または間接的にビジネスの一助となりますようご案内申し上げます。

## ◆講演

### (1)『構造物の維持管理における非破壊検査の役割』

講師：横野 泰和 氏 (社)日本非破壊検査協会 会長／ボニー工業㈱ 代表取締役社長

### (2)『自然放射能を利用した中性子ラジオグラフィ』

講師：谷口 良一 氏 大阪府立大学 地域連携研究機構 教授

### (3)『現場適応力腐食割れモニタリングセンサーの開発』

講師：井上 博之 氏 大阪府立大学 大学院工学研究科 講師

### (4)『鋼構造物／コンクリート構造物の劣化と補修・補強例』

講師：山口 隆司 氏 大阪市立大学 大学院工学研究科 教授

角掛 久雄 氏 同 講師

## ◆見学 研究施設等の見学

## ◆交流・名刺交換会 参加者・講師・関係スタッフ全員による懇親会(立食形式)

[開催要領](#) [参加申込書](#) [会場案内](#)

■日時 : 平成25年 7月 4日(木) 13:20～18:30

■会場 : 大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス

■参加費 : 無料(交流会を含む)

■募集締切 : 平成25年 7月 1日(月)

■主催 : 大阪府立大学 / リそなグループ (リそな銀行、近畿大阪銀行、リそな中小企業振興財団)